慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	一七八四年の総選挙に就て
Sub Title	
Author	田中, 萃一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.8 (1917. 8) ,p.1065(77)- 1078(90)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19170801-0077

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

（廣告主へ御注文の節は三田學會雜誌廣告に依る旨御附記を望む）

株式會社三井銀行

一資本金貳千萬圓
一準備金千八拾五萬圓

○第拾六期（大正六年上半季）決算公告

貸借對照表

資産	金額
法定準備金	貳、〇〇〇、〇〇〇
使用人退職慰勞金積立金	九、五〇〇、〇〇〇
諸預金	貳、參九〇、〇〇〇
內譯	壹、壹九八、〇〇〇
當座預金	參、壹〇九、〇〇〇
特別當座預金	貳、四七四、〇〇〇
通知預金	壹、五七四、〇〇〇
定期預金	八、九壹七、〇〇〇
雜預金	貳、五壹八、〇〇〇
外國爲替取引居ヨリ借	九、參壹參、〇〇〇
他店ヨリ借	壹、〇八五、〇〇〇
未拂利息	七、五參四、〇〇〇
未經過割引料	八、八壹九、〇〇〇
假拂承諾見返貸付利息	七、七貳六、〇〇〇
諸公債證書	九、九壹五、〇〇〇
株式會社債券	壹、壹九四、〇〇〇
貸付有價證券	貳、六四七、〇〇〇
營業用土地建物什器	九、四參四、〇〇〇
現在金及預ケ金	七、七貳七、〇〇〇
內譯	八、七九八、〇〇〇
現金	七、壹九壹、〇〇〇
預ケ金	七、壹七五、〇〇〇
計	貳、參九貳、〇〇〇
合計	貳、壹八八、〇〇〇

負債	金額
資本金	貳、〇〇〇、〇〇〇
法定準備金	九、五〇〇、〇〇〇
使用人退職慰勞金積立金	壹、參九〇、〇〇〇
諸預金	壹、壹九八、〇〇〇
內譯	參、壹〇九、〇〇〇
當座預金	貳、四七四、〇〇〇
特別當座預金	壹、五七四、〇〇〇
通知預金	八、九壹七、〇〇〇
定期預金	貳、五壹八、〇〇〇
雜預金	九、參壹參、〇〇〇
外國爲替取引居ヨリ借	八、五壹四、〇〇〇
他店ヨリ借	壹、〇八五、〇〇〇
未拂利息	七、五參四、〇〇〇
未經過割引料	八、八壹九、〇〇〇
假拂承諾見返貸付利息	七、七貳六、〇〇〇
諸公債證書	九、九壹五、〇〇〇
株式會社債券	壹、壹九四、〇〇〇
貸付有價證券	貳、六四七、〇〇〇
營業用土地建物什器	九、四參四、〇〇〇
現在金及預ケ金	七、七貳七、〇〇〇
內譯	八、七九八、〇〇〇
現金	七、壹九壹、〇〇〇
預ケ金	七、壹七五、〇〇〇
計	貳、參九貳、〇〇〇
合計	貳、壹八八、〇〇〇

損益	金額
當期純益金	壹、六九八、〇〇〇
前期繰越金	七、壹七八、〇〇〇
計	九、五七五、〇〇〇
合計	貳、參九貳、〇〇〇

損益	金額
利息	壹、六九八、〇〇〇
外國爲替取引居ヨリ貸付利息	參、壹九六、〇〇〇
他店ヘ貸付利息	七、七貳六、〇〇〇
拂承諾見返利息	八、八壹九、〇〇〇
諸公債證書金返還金	七、七貳五、〇〇〇
株式會社債券	壹、壹九四、〇〇〇
假拂	七、參四七、〇〇〇
仕拂	八、七九八、〇〇〇
他店ヘ貸付	七、壹七五、〇〇〇
外國爲替取引居ヘ貸付	九、參壹九、〇〇〇
雜貸	八、五壹四、〇〇〇
定期預金	貳、壹八八、〇〇〇
通知預金	壹、壹九四、〇〇〇
特別當座預金	壹、壹九四、〇〇〇
當座預金	貳、四七四、〇〇〇
使用人退職慰勞金積立金	壹、壹九八、〇〇〇
法定準備金	九、五〇〇、〇〇〇
資本金	貳、〇〇〇、〇〇〇
合計	貳、壹八八、〇〇〇

損益	金額
當期純益金	壹、六九八、〇〇〇
前期繰越金	七、壹七八、〇〇〇
計	九、五七五、〇〇〇
合計	貳、參九貳、〇〇〇

大正六年七月二十日

東京市日本橋區駿河町壹番地

株式會社 三井銀行

取締役 男爵 三井高保郎
常務取締役 早川千吉
常務取締役 池田成彬
常務取締役 米山梅吉
取締役 三井守之
取締役 團琢磨
監査役 三井得右衛門
監査役 波多野承五郎
監査役 林健太郎

雜錄

一七八四年の總選擧に就て

田中萃一郎

一

一七八四年の總選擧に小ピットの內閣が勝利を博したのは英國の輿論が年少氣鋭の宰相を信任した結果であるとは英國史上に於ける一種の信仰である。レッキーの『第十八世紀英國史』の如き根本的著述を始として普通の數科書に至る迄皆この意味の論評を掲げて居る。例へばエール大學のアンドルース敎授の『英國小史』には

「この選擧は英國史上の一目標と見做す可き顯著な事件である、何となれば英國の選擧人がこの時初めて彼の王國の安危を思はず徒に政權爭奪を事として陰謀に耽れる腐敗した政界の領袖を葬り去たからである」。

と見え、英國史學協會々頭ハントの『英國史』には『ピットの地位を鞏固にした一七八四年の總選擧は有力な國民的感情の表現であつた』と斷言してある。グリーンの『英國民小史』に至ては一七八三年の十二月に首相となつたピットは幾度か議會で不信任を決議されたが隱忍自重五箇月に及び國民的感情の漸く熟するを俟て議會を解散したので、輿論の力は能く選擧界に行はれた腐敗的勢力を一掃し、有力な選擧區は何れもピット派を選出し庶民院に於てピットを破つた大多數黨議員のうち落選するもの百六十人に及びホウイッグ黨の殘黨は所謂腰巾着選擧區のお蔭で當選したのみであると論じてある。然るに一八三二年の選擧法改正以前の總選擧に於て眞に民意が代表せられたとは聊か不思議なとで而して當時選擧權の最も擴張せられて居つた英國政府の所在地ウエストミンスター市ではピッ

ト派の候補者は敗北して居るのである。曾てWilliam Thomas Laprade 氏は當時の史實を研究して『米國史學雜誌』第十八編の第二號に『ウイリヤム・ピットとウエストミンスターの選擧』と題する一篇を寄せ、更に去る四月『英國史學雜誌』第三十一編第二號で『輿論と一七八四年の總選擧』と題する論文を發表して居る。この兩編を通讀すると前々世紀に於ける英國政界の事情は判然と眼前に映ずるが如く思はるるのである。

二

第十八世紀後半の英國政界の分野は大體前半から繼續してトーリー黨とホウィグ黨とに分れトーリー黨の首領ノース卿はジョーシ第三世の覺も目出度く一七七〇年の一月以來多年首相の要地を占めて居つた。然るに米國十三州の植民地獨立擧兵に對する措置宜しきを得ず、英將コーンウオリス降參の報本國に達して世論囂々たるに至つたが爲一七八二年の三月遂に辭職するとゝなつた。之に代つたのはロッキンガム侯を首相とせるホウイッグ黨の內閣であつたが、ジョージ第三世の信任厚く而も政治上の陰謀を好める大法官サーロー卿留任し更に政界の一角に據れるチャサム派の首領シェルバーン卿も入閣したが爲、內閣の統一を維持すること容易ならず殿てロッキンガム侯病死して同年七月シエルバーン卿が後任となつたので外相フオックスを始めホウイッグ黨出身の大臣は相率いて辭職し內閣は所謂親政派（キングスフレンド）とチャサム派とのみを以て組織さるゝとゝなり少壯のピットはチャサム派の有力者として初めて入閣したのである。殿て在野の兩大政治家たるノースとフオックスとは相提携して政府に當り大權限定を標榜して立つたのでシエルバーン卿の手腕力量遂に之に敵せず一七八三年の春に至て內閣を投げ出して仕舞つたジョージ第三世は如何にかして小ピットを說いて之が後任者たらしめんとしたが小ピットには未だ難局に立つの自信なく大命を拜辭したのでそこでポートランド公を首相としてノース卿を內相フオックスを外相とせるトーリー、ホウイッグ兩黨の聯立內閣が出來た、即ち一七八三年四月のことで勿論之が實權はフオックスに歸して居つたのである。

倫敦の記錄館に保管さるゝチャサム文書に依るとピットは一七八三年の二月二十五日に母に寄せた信書のうちに the great article to decide by seems that of numbers と打明けて居る、議會に多數が制し得らるゝならとの意味で、二十四歳のこの少壯政治家には既に米國獨立以後の英國政界の難局に當るの抱負があつたのである。それより恰かも一ケ月を隔てゝピットはジョージ第三世に上奏して『現在の事情と昨日庶民院に於ける形勢とに就て熟慮を遂げ候處到底その任に堪え難く候』とて大命を拜辭して居るのである。併しDrapmore Papers等に據れば其以後兩三月間ピットは從兄テムプル卿と共にジョージ第三世の意を迎へて政府顚覆の陰謀を廻らして居つたのである。八月になつてからピットは親友ウイルバーフオースと共に大陸に小旅行を試みて政界に野心なきの狀を裝ふたが、秋季の議會にフオックスが東印度會社改革法案を提出して大多數を以て庶民院を通過せしめたのでピットを用ゐて聯立內閣を仆さんとせるジョージ第三世は東印度會社と云ふ有力な味方を得られたのである。茲に於てかピットとテムプル卿とを領袖とせるチャサム派とチアルス・ジエンキンソンを首領とし前大法官サーロウ卿を顧問とせる親政派と社長ジオンストーン理事リチアード・アトキンソンとに依て代表された東印度會社との結託成り、その結果貴族院は庶民院通過の東印度會社改革法案を否決しジョージ第三世は直ちにノース、フオックスの聯立內閣を免職してピットをして內閣を組織せしめたので、

而して翌年三月二十五日に至てピットは反對派の議員の過半數を制せる庶民院を解散したのである。

ノース卿の內閣當時に政府の銓衡長官であつて、ジョージ第三世の親任厚くジェンキンソンやアトキンソンとも親しく交はつて居つたジョン・ロビンソンの政治書信集の摘要は『史料委員會第十回報告附錄第六篇アヴガベニー侯爵家文書之部』に收めてあるが、是に據ると當時の政界の事情は手に執て見るやうである。このロビンソンが東印度會社改革法案のことありしより ピット派となつたので一七八四年の一月二十七日にノース卿の之に寄せた書信には I do not desire any explanation of your conduct. You say that you had to choose between being my friend and my enemy, and you have chosen the latter course. Your option ias necessarily determined mine. とあつて、而も摘要は之に註してこの書信には冒頭に Dear Robinson と署せずして Sir と改まつて書いてあると記して居る。而して同月三十一日附の之に對する答書の草案には I must draw to your recollection the line which you laid down for me to follow when you went out of office, which was to inform, to assist, and to support his Majesty's Government, in whose hands soever it was, as far as it could be done with propriety and consistency. とあるのでノース卿も之を讀んだ時には定めし苦笑したことであらう。扨東印度會社理事アトキンソンが一七八三年の十二月十二日にロビンソンに寄せた書信のうちに He has written to Lord Gower to come to Town, and has given authority to say (when it shall be necessary) that whoever votes in the House of Lords for the India Bill is not *his* friend. This however is, as I understand, to be kept secret some days とあるが是即ち聯立內閣反對派の貴族院に據て內閣を仆さんと熱心運動中のことで、この秘密も忽ちにして暴露したと見え、庶民院は貴族院が東印度會社改革法案を否決した十二月十七日に八十票に對する百五十三票の多數で議會懸案中の問題に關し投票を動かさんとして國王の意見を傳播するは大罪なりと決議するに至つた。親政派の首領ジェンキンソンが十二月十三日にロビンソンに寄せた書狀には I had learnt of Lord G[ove]r all that past, but as I understand that letters are now frequently opened at the Post Office I dare not write particulars. This is a bold measure, but things are in the hands of men of resolution. とある。政爭激甚なる時には信書の秘密も保たれ無かつたので、而して此處に敢爲斷行の人物とあるは聯立內閣を仆さんとせるピット等の所謂陰謀團であることは申す迄も無い。かく激烈な運動が行れた後貴族院では出席議員のみでは十八票、代理投票を加へれば十六票の多數で東印度會社改革法案の委員附託を否決したのである（アトキンソンよりロビンソン宛書狀）。このロビンソンの政治書信集摘要にはなほ面白い事實もあるが『史料調査委員會報告』は義塾圖書館に所藏してあるから之を割愛して置く。

三

ラプレード氏の穿て居るが如くフォックス、ノースの聯合軍は內閣を仆して置いてから總選擧に訴へねばならなかつたのである。在野黨の領袖が解散に反對したのは方略を過つたものであるとの說もあるが、反對派の在職中に總選擧の避け得らるゝのに之に贊成を表するは政治上の技倆の缺點を暴露するものである。この點に於ても日本の政界の現狀は前々世紀の英國とさまでの相違なく、解散逼迫すと見る時は在野黨の議員のうちに政府に欵を通ずるものが現はるゝのでピットは一七八四年の議會解散前には既

に著るしく庶民院に於ける地位を改善し得たのである。但し同年の總選擧に殊にピットの成功を助けたのは一七七四年八十年兩度の總選擧に際しノース內閣の爲に選擧委員長の任に當り補缺選擧にも必ず關係して居つた前記のロビンソンである。ロビンソンは各選擧區に就て現代議士の果してピット內閣に贊成す可や否やを調査し次で總選擧に於て如何に議員の所屬別を變更せしめ得きやを算出して居るが各選擧區毎に勢力家の姓名を擧げて之を動すの方法をも註記してある。右の調査表もアヴガヴエニー侯の所藏に係り其謄本はラプレード氏の手許に在るとのことである。之に據ると五百五十八人の議員のうちピット內閣贊成者は百四十九人で贊成者となり得可き見込あるもの百四人、フォックス、ノース聯合派二百三十一人その同志と見做す可きもの七十四人の計算であるが、若しピット內閣の下に總選擧を行はゞ二百五十五人の與黨の外に更に百十六人の贊成者を得可く反對者は百二十三人で所屬不明のもの六十四人となる可しとの計算であつた。

ロビンソンが更に以上の覺書の附錄として調製したらしく思はるゝものには選擧區を分て第一同志の選擧區、第二富豪の左右せる選擧區、第三買收す可きもの、第四ピット氏等の盡力を要するもの、第五反對選擧區、第六買收の見込あるものゝ五種と爲し之に說明を加へてある。更にピット內閣愈よ成立の曉にロビンソンが他の策士と協議を遂げて起草した覺書には四十二人の議員を同志の選擧區より擧げ得可しと計算してある。そのうち一人で九人の議員を出し得るサー・ジエームズ・ロウザーは功を以て伯爵を授けられ、オールド・セーラムの二人を指名し得るトーマス・ピットは貴族に擧げられた。その他ラットランド公、テムプル卿、コーンウオリス卿ウエイマス卿等は何れも官職を以て酬ゐられたのである。六十九人の議員は第二種に屬し何等かの方法に依て味方とし得可きものと云ふのでエドワード・エリオットの左右し得る七人に就てはロビンソンは壹萬磅を要す可きかと註記しあれどエリオットに伯爵を授けたピットは著るしくこの買收費を節約し得たであらう。フオーマス卿の擧げ得る三人には九千磅サー・フランシス・バセットの五人には壹萬貳千磅を要す可しと計上してあつてその他官職利權等を與ふ可しとしてあるのも見ゆるがこの第二種は合計四萬壹千磅を充てゝある。第三種は簡單に買收す可きものとあつて選擧區毎に一々金額を揭げてある。二人の代議士を出せるウエンドーヴーには七千磅と豫定してあるが、ピットの運動員は從來この選擧區を左右し來つたヴエルネー伯に交渉せずに直接選擧人と示談して豫算よりも壹千磅節約したと云ふ逸話が有る。例のオールドフィールドの英國代議制度史に政府の運動員がウエンドーヴーに赴いた時百人に足らぬ選擧人が市外一哩程の處まで出迎へて何處から來れる客人にやと尋ねたので『月の世界から』と答へた處、選擧人は更に『月の世界から何か便りがありますか』と問ふた、そこで運動員は茲に六千磅を携帶して居るが諸君に之を配分しやうと云ふて示談が出來たと記してある。マウント・エヂカム卿の左右せる六人に對しては過去の經驗上壹萬八千磅を要す可しとあつて、ロビンソンは第三種に對する買收費の豫算を拾壹萬七千五百磅を下らずと見込んで居る。第四種の選擧區は買收費の必要は無いが之を左右せる貴族に對して重要問題を諮らねばならぬのである。二人の議員を動せるグラフトン公三人の議員を左右せるスペンサー卿等が此種の待遇を好むので議員の數は合計二十七人となる。第五種の選擧區は買收の見込あるもので、トトンスの三千磅イルチエスタの二千五百磅、スタック、ブリヂの

二人の六千磅を始として議員十七人買收費參萬五千磅餘の計算である。故に第二、第三、第五の三種合計百三十七人に對して拾九萬三千磅の運動費を要するので、而も是は下に詳述す可きウエストミンスター市を除外した英國の市部に就ての計算であつて此外英國の郡部並に蘇格蘭威爾斯の選擧區全部を加へ更に政府黨の同志の費す所を合算する時は決して貳拾萬磅を下らぬのである。議會解散の翌日『モーニング・クロニクル』紙には選擧競爭は五拾萬磅に達せずとも貳拾五萬磅以上を少くとも費すことになる可しと論じてあつたが決して失當の豫測では無かつたのである。

扨てこの多額の選擧費用は如何にして調達されたかと云ふに、貴族のうちには或は買收費減額の交渉に應じたものもあり又或は親から運動費の一部を負擔して政府の爲に努力したものもあるので一七八四年の總選擧後六箇月内に貴族の新叙昇格は合計十七件に達して居る。何れも選擧戰の論功行賞である。併し稀には行賞に漏れたものもある。例へばピットの内閣組織に際し援助を要められたサー・ジオン・アウブリの如きは寧ろ貴族たらんことを欲したのであるが容易にその宿望が達せられぬので一七八九年になつて遂に憤然政府に於ける地位を擲つたのである。東印度會社の重役等が運動費を支出したのは勿論のことで正確に數字を知ることは出來ぬがロビンソンの覺書にはピット内閣の銓衡長官ジョージ・ローズの名よりも會社のアトキンソンの名が多く引合に出て居るので明白である。選擧費用の大部分は勿論政府から支出するのであるが官吏その他からは強制的に寄附金を募集するので一七八八年のウエストミンスターの選擧には政府黨の候補者を援助するが爲政府部内からも二百磅を最高額として寄附金を募集し總額貳萬磅を得たとのことである。但し一七八四年の總選擧に於ても寄附金は相當に徵收されたであらうが、當時政府の機密費は年額壹萬磅であつたのに解散後年末までにローズ署名のピット宛の受取書の運動費に關係ありと認めらるゝものは金額合計壹萬五千磅に上つて居る。國王が貴族から上納する地租や植民地からの收入を選擧費用に投じたのは最早過去のことゝなつたがジョージ第三世は毎月例として貳千磅宛節約されて之をロビンソンに交附せられたのである。

一七八〇年の總選擧の時にはジョージ第三世はノース卿とロビンソンとの借入金を辨償さるゝ爲ドラムモンド銀行から四萬磅を借用されたこともあつたので或はかゝる窮策をも執られたかも知れぬ。大英博物館增加文書三七八三六號に依ればピットが一七八四年の三月三十一日に國王から五千磅を受取つたことがあるので是は選擧費用と見て差支あるまい。且又運動費の負債は容易に償却せられぬのが例で殊に落選の場合には決して返濟され無かつたのである。例へば一七八八年のウエストミンスターの選擧に際しピットの切なる依頼により政府黨の候補者フッド卿の會計事務を擔當したジオン・フロースト は一七九六年になつて當時立替へた運動費の辨償請求の爲訴訟を提起して居る。一七八四年の總選擧に東印度會社のアトキンソンに勸められてウースターから候補に立つたサミュエル・スミッスは政府黨の熱心な運動員に對して國庫から貳萬磅までは補助を受ける約束であると公言して居る。尤も前回反對派に聲援した地方の一有力家が態度を一變して無競爭となつたが爲、事實この國庫補助の必要は無かつたとのことであるが兎に角上記の事實に照して見ると一七八四年の總選擧の結果が英國の輿論を表現し得たとは云ひ得られぬのである。

四

一八三二年の選擧法改正以前に於て選擧人の數の比較的に多くして先づ輿論の指數と見做し得可きは郡部ではヨークシア市部ではウエストンミスターのみであつた。ヨークシアの大選擧區で競爭が行はれたならば或は世襲不動產所有者の輿論を知ることが出來たかも知れぬが、前回の總選擧後にホウイッグ黨の領袖であつたロッキンガム侯とサー・ジョージ・セーヴイルとが共に故人と爲り、且又チャサム派が相率ゐて分離したが爲、ホウイッグ黨の未熟な領袖等は競爭場裡に角逐するの勇氣なくウイルバーフォースとダンカムとを無競爭で選出した。然るにウエストミンスター市には激烈な競爭が行はれ而して同市では市費を納むるものは總て選擧權を有して居つたのでこの競爭の結果は民意を卜するものと見ても差支無いのである。但し同市でもホウイッグ黨は二人の代議士を爭ふの意氣なく政府黨の前代議士フッド卿の候補には反對せず全力を傾倒して黨の首領フォックスの再選を期したので、政府はサー・セシル・レーを候補者に推しピットの義兄マホン卿が參謀長となつて之に對抗した。但しウエストミンスター市が第十八世紀の當時英國の選擧區中最も民主的であつたと云ふてもその競爭の實際は毫も民主政治の信用を高むる所以では無かつた。投票場は假りにカヴエント・ガーヅンに設けられ、投票の行はるゝ四十日の間雙方共に無賴漢を雇ひ政府黨では之を水兵に變裝きせて投票場附近の取締を爲すが如き狀を裝ひつゝフォックスに投票せんとする選擧人を威嚇し在野黨は愛蘭出身の輿丁を雇ふて之に應ずると云ふ始末であつた。兩派の衝突は絕えず其極死傷者をも出したと傳へられて居る。ジョージ第三世と雖も決して超然としては居られず禁軍の將士二百八十人が隊伍を組んで堂々と投票場に練り込み一齊にレーに投票したので、勿論不法とは云ひ得ぬが、ホレース・ウオルポールは之を評して父と雖もかゝる無遠慮なる態度に出でしことは無之候と云ふて居る。宮中の侍從の一人には投票の際式部官からレーに投票せねば免職するぞと申渡されたと明言したものさへある。之に對してホウイッグ黨では皇太子の援助の外には只管フォックスの人望を恃にしたので、名優ガーリックの未亡人と共にピット派の爲に運動したハンナ・モーアの書信に『過日途上にて戸別訪問中のフォックスに偶然會合致し候は主義の爲不幸の至に存候氏は如何にも物の分りたる愉快氣の人物にて他に眼光を外さずば籠絡せられ候事と存候』と見えて居る。政府黨は新聞の記事に引札の漫畫にフォックスは博徒である道樂者であるとて盛に人身攻擊を加へたが、フォックスは破產の窮境にあることを是認し運動費はすべて友人の厚意の寄附に依ると公言して居た。ポートランド、デヴオンシアの兩家は最も熱心にフォックスに聲援を與へたので、ハントの『英國政治史』にも美人の譽高きデヴオンシア公爵夫人の接吻で肉屋の亭主がフォックスに投票したとの風說を掲げて居る。是は當時の三文文士の落首に

The girl condemn'd to walk the streets,
And pick each blackguard up she meets.
And get him in her clutches;
Has lost her trade—for they despise
Her wanton airs, her leering eyes—
Now they can kiss a Duchess.

とあるのに據たもので無根の事實と思はれるが侯爵夫人が織手馬車を驅て選擧人を投票場に案內したことはあるのである。是に對して政府黨の爲に一臂の勞を與へたのはニューカースル、ノーサムバーランド兩公爵家であつた。

扨この際兩派が果して幾許の運動費を要したかは明瞭で無いが、選擧費用の常として長らく勘定の濟まぬものもあつたらしい。例へば一七

八九年になつてチャルス・ペラムはフォックスの運動費の不足額千五百磅の醵出を請求して居るのである。且又選擧後約一年間に亘つて投票審査を行つた費用のみでも兩黨各〻壹萬八千磅以上參萬磅を要して居る。當時は公然新聞に廣告してまで運動費の寄附を募集したものであつた。レーの選擧費用がピットの手から出たのは明白なことで、一七九〇年になつてレーがピットに手紙を寄せて當時の運動員ジャクソンが寄附者の爲に數千磅を節約したことやジャクソン夫人が機敏に振舞ふて選擧關係文書を處分したことを訴へた時、ピットは五箇年間同夫人に年金を給與することにした。國庫から當時幾許の支出をしたかは判然せぬが、上文にピットが國王から五千磅を受領したと云ふたその翌日即ち四月一日からウエストミンスターの投票が開始されたのである。投票中四十日間は居酒屋は公開せられて居るので之に對する賠償は巨額に達し、水夫と輿丁とには飲食の外に一日五志の日當を給し、新聞の社主にも記者にも報酬を拂はねばならず、運動員や參謀に對する手當もあり運動費の總計は意外の額に上つたことゝ思はるゝのである。

五

このウエストミンスターの選擧に際して論爭點となつたのは何であるかと云ふに、フォックスの主張は一七八四年の二月十四日に屋外演說で述べた通りで

「目下の論點は貴族院と宮中の勢力とは庶民院を壓倒してその存在を無効に歸せしむ可きや、將た又諸君の選出した庶民院はその權能を揮て人民の特權を維持し自由を擁護し諸君の選出に由らざる貴族院の非立憲的行爲を抑制し、且又我國の選擧人の自由を侵害して憚らざる皇室の大權を取締る可きやと云ふのである」

レー派は之に對して議會を改革す可しとのフォックスの主張に贊成しつゝフォックスが多年反對黨たりしノースと結託したることを攻擊して餘力を剩さず、東印度會社改革法案は民意の好まざる處なるが故國王と貴族院とが之が成立に反對して新議會まで同意を表することを拒まれたのは正當であると論駁したのである。局外から觀察すればフォックスの主張が遙かに議會政治の精神に叶ふたもので、而して投票の結果は五九九八票に對する六二三四票の多數を以てフォックスは立派にレーを破つたのである。

然るにピットはウエストミンスターに於て政府黨の敗北せるを遺憾に思ひ如何にもしてフォックスの選出を妨げやうとし、四月十五日に禁軍一團の投票の結果でレーがなほ多數を占めて居づたが形勢漸く一變せんとするを察して投票審査請求の意志を公表した。而して五月一日にジョージ第三世はピットに宸翰を賜はつて請求さへあらば投票審査を行はしむ可しとの許可があつて投票管理長コルベットは投票閉鎖に際して當選者を定めず投票審査中であると報告した爲に一七八四年の五月十八日に新議會の召集せられた際にはウエストミンスターからは代議士を出すことが出來なんだので、後に大法官エルドンとし知られたトーリー黨のサー・ジオン・スコットの如きも痛くピットの措置を攻擊した。實に某議員の指摘せるが如くコーンウオールスの投票管理長がコルベットの如き不法行爲を敢てせば四十人の議員の出席を停止したことになるのである。フォックスは早速サー・トーマス・ダンダスの好意でカークウオールから選まれて議場に入り在野黨院內總理の席に就いたが、ピットは多數の與黨を恃んで直にウエストミンスター選出の代議士を報告せしむ可しとの動議を否決し、ホウイッグ黨の請願採擇を拒み投票審査を續行せしめたが一七八五年三月四日に至てピットは遂に三十八票の差を以て議場に破れたので、コルベットは爰に初めて投票審査の結果を報告したがフォックスは遂に五八九五票に對す

る六一二六票の多數でレーを破つてウエストミンスターの代議士と確定したのである。ピットは何故にこの選擧に重きを置いたかと云ふにラプレード氏の説明の如く、當時ピットとフォックスとは政界の兩雄で到底竝び立ち難く、而してピットはフォックスを以て民意に背馳するものであると評したので、輿論の指數と目さるゝウエストミンスターの選擧に於ける敗北を忍ぶことが出來無かつたのである。さればこそ一七八八年にフッド卿の海軍省に入て信任を選擧區に求むることゝなつた際の如き飽くまで任官の事情を秘密に附して居つたのである。然るにホウイッグ黨は直ちに壹萬五千磅の運動費を釀出しジオン・タウンシェンド卿を候補者に推し立てゝフッドを破つた。投票結了の日に政府黨の機關新聞『ザ・ウオールド』が全紙に黑枠を附して弔意を表したるが如き如何に政爭の激烈であつたかを思はしめるのである。次で翌年三月兩派の間に妥協成立して各々候補者一人宛を出して無競爭となすことになり、フォックスはその死するの日に至るまでウエストミンスターを代表したのである。

一七八五年に公にされた A Gleam of Comfort for this Distracted Empire と云ふ小冊子は當時政界腐敗の狀態を罵て

Sir Robert Walpole himself was a simpleton to this wonderful young man. There was such originality, such ingenuity, such orientality in the manner. Sources were discovered so unthought of in all former exigencies—channels of influence so mysterious and unsuspected—sluices of venality so contrary to all imagining—such dexterity of seducement! such rare and refined profligacy! such polished prostitution! In a word it was the *ne plus ultra* of this admirable science.

と云ふて居るが、少壯のピットは實に老獪なウオルポール以上の手腕を具へて居つたと見ゆるのは一七八四年の總選擧の結果の決して輿論を而もなほ且ウエストミンスターの選擧に敗れた示現したもので無いことを立證するものである。實際政治の批評には皮相の觀察は慎まねばならぬ。殊に黨派心を根據とした言論に至ては一切價値の無いものである。而して後世歴史家の批評も亦必ずしも信ずるに足らぬのである。

佛國人口の將來（上）

阿部秀助

一

所謂「戰後の歐洲」が解決す可き問題中、人口問題は最も主要なる意義を有するものにして殊に此點より考察して興味あるを佛國の將來となす。

今を去る約百年前「ナポレオン」一世が歐洲の覇權を握りし當時に於ける佛國は人口の點に就きては歐洲諸國中露西亞を除きては之れに匹敵するものなく、即ち現時の佛國が歐洲人口の約九「プロツェント」を出でざるに對して、十九世紀初期の同國は約十四「プロツェント」に達せしものなりとす、今、佛國に於ける人口增加の狀態を以て獨逸に比較する時は左の如し。

佛國の總人口

年度	人口數（百萬）	年度	人口數（百萬）
一七〇〇	一九、六	一八一六	二四、八
一七八四	二四、八	一八二〇	二六、三
一八〇一	二七、三	一八三〇	二九、五
一八三一	三二、五	一八四〇	三二、八
一八五六	三六、〇	一八五〇	三五、四
一八六六	三八、〇	一八六〇	三七、七
一八七二	三六、一	一八七〇	四〇、八
一八八一	三七、六	一八八〇	四五、二
一八九六	三八、五	一八九〇	四九、四
一九〇一	三八、九	一九〇〇	五六、三
一九一一	三九、六	一九一四	六七、〇

現時の獨逸帝國內に於ける總人口

以上の表によれば、佛國は千八百一年に二千七百三十萬に對して千九百十一年には三千九百六十萬となりし結果、差引千二百三十萬增加せるに對して、同時期間に於ける獨逸は二千四百八十萬より六千七百萬となり、差引增加三千二百二十萬、更に他の言を以てする時は獨逸は十九世紀を通じて其人口に於て約三倍する結果を現